

文部科学省 「未来医療研究人材養成拠点形成事業」
 臨床発実用化マネジメント人材養成拠点 第4回シンポジウム

日時

平成27年 **10** 月 **29** 日 (木)

13:00-17:50 (開場12:30)

場所

東京大学 情報学環・福武ホール

難病治療薬の現状を俯瞰することにより、難病克服という大きな課題を解決できる人材の育成について考えます。

プログラム

- 13:00-13:10 開会の辞
山崎 力 (東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター センター長)
- 13:10-13:50 難病克服に向けた日本医療研究開発機構 (AMED) の取り組み
末松 誠 (日本医療研究開発機構 理事長)
- 13:50-14:30 難病治療薬の開発に向けたオープンイノベーションと今後の動向
瀬尾 亨 (Pfizer Inc. WRD External R&D Innovation 統括部長)
- 14:30-15:10 難病・希少疾病治療薬の薬事承認における現状と課題
佐久嶋 研 (医薬品医療機器総合機構レギュラトリーサイエンス推進部 推進専門員)

<休憩・ポスター発表*>

- 15:25-16:05 (特別講演)
Developing New Treatments for Unmet Medical Needs through Drug Repurposing
Kevin Grimes
(スタンフォード大学医学部創薬人材育成コース SPARK 准教授)
- 16:05-16:25 創薬イノベーション人材の育成 ~東京大学の挑戦~
吉本 真 (東京大学医療イノベーションイニシアティブ 特任准教授)
- 16:25-17:05 難病治療薬開発の課題克服に向けて・患者レジストリー Remudy の現状
中村治雅 (国立精神・神経医療研究センター 臨床研究支援室 室長)
- 17:05-17:45 MCI-186 (エダラボン) の筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 治療薬としての開発
田中正彦 (田辺三菱株式会社 開発本部 臨床開発第一部 部長)
- 17:45-17:50 閉会の辞
木村廣道 (東京大学医療イノベーションイニシアティブ 特任教授)



* SPARK International Workshop に参加した受講生が成果を発表します。

ウェブサイトからお申し込みください

<http://plaza.umin.ac.jp/~mirai/event/symposium201510/>

【主催】
東京大学医療イノベーションイニシアティブ

【共催】
 東京大学医学部附属病院 早期・探索開発推進室
 東京大学医学部附属病院 TRセンター
 東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター
 東京大学創薬機構

お問い合わせ 東京大学医療イノベーションイニシアティブ事務局
 TEL: 03-5841-1966 E-mail: mirai@mol.f.u-tokyo.ac.jp

参加費
無料

事前
登録制



創薬イノベーション人材の育成を目指して
 難病克服のエコシステムを探る